

日本共産党愛知県委員会は、 大村知事のリコール運動に 反対しています！



美容外科「高須クリニック」院長の高須克也氏が「お辞めください大村秀章 愛知県知事 愛知 100 万人リコールの会」の代表となって進めようとしている大村知事のリコール運動ですが、河村名古屋市長まで賛意を示し、支援し、街頭宣伝などの行動を行っています。8月25日からリコールのための直接請求署名に取り組むと公表しています。

なぜリコールを求めているの？

昨年開催され、テロ予告や妨害で一時中断となった「あいちトリエンナーレ 2019」の企画展「表現の不自由展・その後」の作品の表現方法を一方的に問題視し、その展示を許可し、企画展を開催・再開した大村知事は知事にふさわしくない、という理由です。

公務員(首相始め国会議員、知事や市長も含まれる) は憲法を守る義務(憲法擁護義務)がある

大村知事は憲法 99 条の憲法擁護義務を守り、憲法 21 条の「表現の自由」と文化芸術基本法の「我が国の文化芸術の振興を図るためには、文化芸術の礎たる表現の自由の重要性を深く認識し、文化芸術活動を行うものの自主性を尊重すること」に従う知事として正当な対応を取ったにすぎません。

むしろ、河村たかし名古屋市長の態度こそ、公職にありながら、憲法擁護義務も「表現の自由」も否定する立場です。



現政権の安倍首相も憲法擁護義務違反を繰り返しており、公の場で改憲に言及し「やり遂げる」などと述べています。

憲法に従いたくないのであれば、公務員の立場を捨て、一市民として憲法を変える運動などを行えばよいのではないのでしょうか。

「表現の自由」と憲法擁護義務を否定する大村知事リ コール運動には正当性なし

今回の知事リコール運動には、企画展の作品の表現を「日本人の心をふみにじるもの」とし、アジア諸国民と日本国民のいのちを奪った侵略戦争を肯定し、それを進めた旧日本軍を美化しようとしている意図が見えます。

「リコールの会」の代表高須克也氏は、「偉大なナチス」「盟友ナチス」などと、ヒトラー・ナチスを礼賛する発言を繰り返して来た人物です。また、河村たかし名古屋市長も「南京大虐殺はなかった」と発言し、旧日本軍「慰安婦」の被害を表した「平和の少女像」の展示を問題視し、作品の撤去を迫りました。

両者はともに「南京大虐殺はなかった」などの歴史修正主義で一致し、取り組みを進めようとしています。自分たちの気に食わない内容・表現を攻撃するこのような態度には正当性はありません。

一宮でも取り組みが進められようとしているとのこ と。きっぱりとリコール NO!と断ろう！

一宮でも取り組みが進められようとしているとの情報が届いています。憲法を守り、「表現の自由」を守った知事の行動に対し、内容が気に食わないからという理由でリコールを行う事は、「公務員が憲法を守らなくて良い」と示すことになってしまいます。

日本共産党愛知県委員会が 7 月 21 日に出したリコール運動に反対する決意表明でも、「『表現の自由』を守り、日本の平和と民主主義を求める諸団体、愛知県民とともに、知事リコール運動に反対する一大運動をすすめる決意を表明するものです。」と述べています。みなさんがきっぱりリコール NO!と示せるような世論喚起も含め、運動を展開していきます。

(わたなべさとし)



(写真) 韓国の平和の少女像

